

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月6日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社JBイレブン
 コード番号 3066 URL <http://www.ib11.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 新美 司
 (氏名) 亀岡 巧

TEL 052-629-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 1,426 | 5.1 | △4 | — | △14 | — | △40 | — |
| 26年3月期第1四半期 | 1,357 | 5.0 | △2 | — | △3 | — | △16 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第1四半期 | △11.53 | — |
| 26年3月期第1四半期 | △5.03 | — |

(注)平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 4,306 | 1,030 | 23.9 |
| 26年3月期 | 3,999 | 1,080 | 27.0 |

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 1,030百万円 26年3月期 1,079百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 27年3月期 | — | — | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。そのため、平成26年3月期の年間配当金は、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しています。

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|------|------|------|-------|--------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 2,967 | 4.0 | 62 | 85.6 | 45 | 52.4 | △10 | △201.0 | △3.12 |
| 通期 | 6,027 | 4.3 | 165 | 28.6 | 137 | 33.0 | 42 | 91.1 | 12.23 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しています。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年3月期1Q | 3,508,200 株 | 26年3月期 | 3,508,200 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期1Q | 873 株 | 26年3月期 | 798 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年3月期1Q | 3,507,373 株 | 26年3月期1Q | 3,331,210 株 |

(注)平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。株式数は、当該株式分割を考慮し算定しています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.11「当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 1 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 1 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 1 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 2 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 2 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 2 |
| 3. 四半期財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第1四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成26年4月1日から6月30日までの3か月間）の経済概況は、米国景気による牽引やアベノミクス効果もあり、企業業績改善から雇用拡大へとつながり、急速に求人難が叫ばれ始めました。

外食産業全般では、懸念された4月1日実施の消費税増税による悪影響は見られませんでした。オーバーストアによる企業間競争の激しさは変わらず、加えて原材料価格、エネルギーコスト、パート・アルバイト時給等の上昇に拍車がかかりました。

このような環境下で当社は、当第1四半期会計期間に「ロンフーダイニング」1店舗（御徒町吉池店）を新規出店し、「一刻魁堂」3店舗でリニューアル改装を実施しました。

これにより、当期間末の店舗数は76店舗（前年同期比1店舗の増加）となりました。

営業面では、消費税率改定に伴う価格改定に合わせて、商品の品質改善等も図りつつ引き続き内税総額表示を継続しました。また、営業管理体制の強化安定に向け1店舗当たりの正社員配置人数を引き上げるべく、限定正社員の制度を導入しました。これらの結果、既存店売上高は前年同期比105.5%となり、前年を大きく上回ることが出来ました。

一方、原価面では、豚肉等の仕入価格が大幅な高値で推移し、自社工場の生産性改善に努めましたが、売上原価率は前年同期間比で0.8ポイント悪化しました。

以上により、当第1四半期累計期間の売上高は、1,426百万円（前年同期比5.1%増加）となりました。

利益面では、原材料価格、パート・アルバイト時給、およびエネルギー単価の上昇等により、営業損失4百万円（前年同期は営業損失2百万円）、経常損失14百万円（前年同期は経常損失3百万円）となりました。

また、転貸店舗の固定資産を売却したことによる固定資産売却損15百万円および3店舗の改装に伴う固定資産除却損を特別損失に計上した結果、最終利益については四半期純損失40百万円（前年同期は四半期純損失16百万円）となりました。

部門別の状況は次のとおりです。

（クイックサービス部門）

当部門は、「一刻魁堂」業態および、その派生業態の「一刻魁堂/真一刻」であり、当第1四半期会計期間に新規出店はなく、「一刻魁堂」3店舗でリニューアル改装を実施しました。その結果、当期間末の当部門の店舗数は58店舗（前年同期比2店舗の減少）となり、内訳として、「一刻魁堂」56店舗（同3店舗の減少）、「一刻魁堂/真一刻」2店舗（同1店舗の増加）となりました。

商品施策としては、ラーメントッピングの主役であるチャーシューのバリエーションアップを図り、また季節商品では、昨年好評だった「ガスパチョ風つけタレ/野菜サラダつけ麺」のバージョンアップに加え、例年の「冷やし中華」もタレを2種類に増やし販売開始しました。

以上の結果、当部門の既存店売上高は前年同期間に比して6.0%増加し、客数も4.3%増加しました。また、部門の売上高は1,049百万円となり、前年同期間比1.5%の増加となりました。

（カジュアルサービス部門）

当部門は、「ロンフーダイニング」業態であり、当第1四半期会計期間中に1店舗を新規に出店しました。その結果、当期間末の店舗数は18店舗（前年同期比3店舗の増加）となりました。

商品面では、季節限定商品を継続して投入するとともに、サービス面では、数値目標として「誉められ倍率（客数1万人に対しお客様アンケートへ名指しでお誉めの言葉を頂けた割合）」を設定し、各店が25を目指してサービス力の向上を図りました。

以上の結果、当部門の既存店売上高は前年同期間に比して3.7%増加し、客数も3.7%増加しました。また、部門の売上高は356百万円となり、前年同期間比18.3%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,074百万円となり、前事業年度末に比べ283百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が277百万円増加したためです。

固定資産は3,232百万円となり、前事業年度末に比べ23百万円増加しました。主な要因は、1店舗の新店および3店舗のリニューアル改装等に伴い有形固定資産が45百万円増加した一方、投資その他の資産が20百万円減少したためです。

流動負債は1,504百万円となり、前事業年度末に比べ139百万円増加しました。主な要因は短期借入金が120百万円増加したためです。

固定負債は1,770百万円となり、前事業年度末に比べ216百万円増加しました。主な要因は長期借入金が161百万円、資産除去債務が53百万円増加したためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後も厳しい経営環境が続くものと予想され、予断を許さない状況にありますが、現時点において、平成26年5月8日に公表しました業績予想から修正は行っていません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用及び店舗の使用見込期間に関して見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額を変更前の資産除去債務残高に53,026千円加算しています。

なお、当該見積りの変更により、当第1四半期累計期間の税引前四半期純損失は3,591千円増加しています。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 524,865 | 802,411 |
| 売掛金 | 11,265 | 10,244 |
| 預入金 | 96,951 | 73,198 |
| 製品 | 15,267 | 16,117 |
| 仕掛品 | 30,989 | 43,543 |
| 原材料及び貯蔵品 | 21,374 | 20,261 |
| その他 | 92,761 | 113,482 |
| 貸倒引当金 | △2,911 | △5,211 |
| 流動資産合計 | 790,565 | 1,074,048 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 1,517,260 | 1,592,841 |
| 土地 | 587,734 | 587,734 |
| その他（純額） | 322,982 | 293,040 |
| 有形固定資産合計 | 2,427,977 | 2,473,617 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 35,922 | 34,009 |
| 無形固定資産合計 | 35,922 | 34,009 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 539,875 | 541,191 |
| その他 | 205,112 | 183,517 |
| 投資その他の資産合計 | 744,988 | 724,708 |
| 固定資産合計 | 3,208,888 | 3,232,335 |
| 資産合計 | 3,999,453 | 4,306,384 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 171,767 | 163,978 |
| 短期借入金 | — | 120,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 683,012 | 722,528 |
| 1年内償還予定の社債 | 30,000 | 30,000 |
| 未払法人税等 | 28,361 | 13,271 |
| 賞与引当金 | 28,248 | 11,934 |
| 資産除去債務 | 1,443 | — |
| その他 | 422,640 | 443,246 |
| 流動負債合計 | 1,365,473 | 1,504,959 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,381,591 | 1,542,804 |
| 退職給付引当金 | 24,569 | 25,454 |
| 資産除去債務 | 43,189 | 96,291 |
| その他 | 104,577 | 105,880 |
| 固定負債合計 | 1,553,927 | 1,770,430 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 負債合計 | 2,919,401 | 3,275,390 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 661,579 | 661,579 |
| 資本剰余金 | 380,637 | 380,637 |
| 利益剰余金 | 36,759 | △12,446 |
| 自己株式 | △283 | △330 |
| 株主資本合計 | 1,078,693 | 1,029,439 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 738 | 933 |
| 評価・換算差額等合計 | 738 | 933 |
| 新株予約権 | 621 | 621 |
| 純資産合計 | 1,080,052 | 1,030,994 |
| 負債純資産合計 | 3,999,453 | 4,306,384 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,357,017 | 1,426,360 |
| 売上原価 | 380,165 | 410,993 |
| 売上総利益 | 976,852 | 1,015,366 |
| 販売費及び一般管理費 | 978,956 | 1,019,563 |
| 営業損失(△) | △2,104 | △4,197 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 85 | 84 |
| 受取配当金 | 48 | 55 |
| 賃貸不動産収入 | 11,852 | 7,479 |
| 違約金収入 | 4,000 | — |
| その他 | 1,991 | 2,955 |
| 営業外収益合計 | 17,978 | 10,573 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,612 | 5,868 |
| 社債利息 | 215 | 18 |
| 賃貸不動産費用 | 11,590 | 9,405 |
| その他 | 1,431 | 5,233 |
| 営業外費用合計 | 19,850 | 20,526 |
| 経常損失(△) | △3,976 | △14,150 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 15,279 |
| 固定資産除却損 | 2,123 | 2,820 |
| 特別損失合計 | 2,123 | 18,100 |
| 税引前四半期純損失(△) | △6,100 | △32,250 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10,586 | 9,008 |
| 法人税等調整額 | 70 | △821 |
| 法人税等合計 | 10,656 | 8,187 |
| 四半期純損失(△) | △16,757 | △40,437 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。